



竹に親しむ

- 5 さつまの竹林
- 6 さつまたけのこ

鹿児島県の竹林面積は日本一。さつま町一帯には美しい竹林が広がります。「ちくりん公園」には、世界各国の竹があります。整備された竹林はおいしい恵み、たけのこもたらしてくれます。さつま町は日本一早い早掘りたけのこの産地。旬の時期になるとたけのこ掘り体験も楽しめます。

菜々小町 代表 久永 裕子さん
地元の女性グループでがんばっています。野菜・山菜をふんだんに使った素朴な味。お弁当の注文も多いです。



【写真右下】
北薩広域公園内のレストラン「菜々小町」の人気メニュー、菜々御膳(770円)は煮しめ、がね、こが焼きが人気の定番メニュー。麺の上には、たけのこもたっぷり入っています。(☎0996-52-1255)

【写真右上・左】
宮之城伝統工芸センターには、地元で作られた竹かごや花器、竹炭などの竹製品が並びます。(☎0996-52-1313)
竹細工の体験教室も行われています。(体験は要予約:竹とんぼ300円、キーホルダー 500円、風車500円)

ゆったりくつろぐ

- 7 紫尾温泉郷

霊峰紫尾山の麓にある山あいの温泉郷、紫尾温泉。紫尾神社の周りに数軒の温泉宿が佇む静かな秘湯で、全国から温泉ファンが訪れています。人気の秘湯はやはりそのお湯。紫尾神社の拝殿下から湧き出ているため「神の湯」とも言われるそのお湯は、無色透明で少し熱め。ツルツルした感触で肌がきれいになると評判の「美肌の湯」です。
☎0996-53-1111(さつま町商工観光課)



【写真左上】
区営「神の湯」。平成17年にリニューアルオープンしたきれいな公衆浴場。
【営】午前5時～午後9時30分。年中無休。
【料】大人200円(中学生以上) 子ども100円(4歳以上)

【写真右上】
泉質は単純硫黄泉。飲用は糖尿病にも効能があると言われています。

【写真右下】
温泉郷を見守る紫尾神社。御神体は鏡三面で鎌倉幕府3代将軍源実朝が奉納したものであると伝えられています。古くから祁答院七か郷の総社としてあがめられてきた由緒ある神社です。

旬を味わう

- 8 川内川の天然鮎

さわやかな初夏の風とともに川内川を上ってくる若鮎。鮎は優美な姿から「清流の女王」とも、独特の香気から「香魚」とも言われています。川内川には鮎釣りが解禁となる6月1日から、天然の若鮎を求めて多くの釣り人が訪れます。秋には落ち鮎のやな漁も盛んです。
☎0996-53-1111(さつま町商工観光課)



湯乃元食堂 店主 笹田 満義さん
生きた天然の鮎を刺身で出すのは、うちしかないのでは。あっさりとして、なんともいえないおいしさです。ぜひ、食べにきてください。(☎0996-55-9301)



北薩摩の初夏を 体感する旅。

「伊佐市・さつま町」

今回は、自然・食・温泉・工芸体験を満喫できる初夏の北薩摩おすすめのスポットをめぐります。



5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

【写真上】あゆ定食
湯乃元食堂 あゆ定食(2,000円) ※事前にお問い合わせください。

【写真下】鮎釣り風景
釣り人が竿をたれるようすは、初夏の風物詩。

今年は5月22日(金)～6月6日(土)に開催! 5月7日(木) 予約受付開始
奥薩摩のホタル舟予約センター ☎0996-59-3250・3251

かごしまよかところ巡り

旅ガラスのごとく広い県を飛び回り、かごしまよかところ100選に選ばれた観光地の中から、季節にあわせておすすめのスポットを紹介します。



かごしまよかところ100選



「かごしまよかところ100選」は県内主要書店などで好評販売中!

- かごしまよかところ100選 スポット()内は本のページ番号**
- 1 曾木の滝 (四季の旅154)
 - 2 曾木発電所遺構 (浪漫の旅134)
 - 3 ガラス工芸体験 (躍動の旅96)
 - 4 奥薩摩ホテル舟 (四季の旅64)
 - 5 さつまの竹林 (四季の旅62)
 - 6 さつまたけのこ (食彩の旅152)
 - 7 紫尾温泉郷 (食彩の旅150)
 - 8 川内川の天然鮎 (食彩の旅154)
- ※営業時間や休業日などは変更となる場合もありますので、おでかけ前に各施設にお問い合わせください。

滝の迫りに圧倒される

- 1 曾木の滝
幅210メートルにもおよぶ大瀑布が眼前に広がる景観は壮大で、「東洋のナイアガラ」といわれるのもうなずけます。今からの季節は水量も多く豪快そのもの。岩肌を削るような水の流れと轟音が見る者をくぎ付けにします。紅葉の季節は、モミジやイチョウが白い水しぶきと美しいコントラストを織りなします。
- 2 曾木発電所遺構
明治42年、「電機化学工業の父」と称される野口遵(したがう)によって建設された曾木発電所。昭和41年の鶴田ダム completionとともにダム湖の底に眠ることになりました。ダムの水位が下がる5～9月のみ湖面に姿を現すレンガ造りの遺構は、緑の木々に囲まれてひっそりとたたずんでいます。
☎0995-23-1311(伊佐市地域振興課)

工芸を楽しむ

- 3 ガラス工芸体験(さつま町ガラス工芸館(観音滝公園内))
【営】午前9時～午後5時(年中無休)
【料】入場・見学無料 体験有料
島津斉彬の時代に誕生し、わずか数十年で途絶え、昭和60年に復元された薩摩切子。さつま町ガラス工芸館では、その復元に携わった職人たちがつくった復元薩摩切子や、独創的な創作薩摩切子をはじめとするガラス工芸品の展示・販売を行っています。全国でも珍しいキーホルダーやガラスのカット体験などもでき、これを目当てに県外から訪れるお客さんも多いそうです。あなたも、オリジナルのガラス作品を作ってみませんか?
☎0996-58-0141(さつま町ガラス工芸館)
【カット体験料】クリスタルストラップ:1,050円、クリスタルキーホルダー:1,260円、色ガラス:1,890円～、薩摩切子:7,350円～など。
その他の体験コースも多数そろえています。



3
平成18年に鹿児島県の黒文化を追求した「薩摩黒切子」が誕生。

光に癒される

- 4 奥薩摩ホテル舟
川内川のゆるやかな流れを専用舟で下りながらホテルを觀賞する、こんなロマンティックなイベントが、毎年5月中旬から6月初旬にかけてさつま町で行われています。ホテルの乱舞する光は、息をのむほど幻想的。今年で8回目となる奥薩摩ホテル舟は、地域のみなさんがボランティアで運営している手作りのイベントです。
☎0996-53-1111(さつま町商工観光課)